

学校法人イーエスピー学園 専門学校ESPエンタテインメント大阪

## 2022年度 学校関係者評価 報告書

(基準日2023年3月31日)

### ・学校関係者評価の概要

#### 【体制】

本校では音楽、芸能等の設置学科に関連する大阪府内の企業と共に、地域活動団体、卒業生を評価委員とした「学校関係者評価委員会」を組織することとします。

#### 【実施方法】

学校関係者評価委員会では本校職員で組織する自己評価委員会により作成された「自己評価報告書」に基づき、評価項目である学校の運営状況、教育活動状況、学修成果として卒業生の進路の状況等を報告します。学校関係者評価委員会は報告書の内容を受け、客観的な視点から現状を点検・評価します。

#### 【方針】

本校職員以外の学校関係者評価委員会を組織、実施することによって、透明性を高めると共に学校に対する理解、連携、協力による「改善」を図ることを基本方針とします。

### 実施日：2023年5月24日(水)

参加者：

#### 【学校関係者評価委員会】

- ・西田 啓一（株式会社ワイドウィンドウズ 取締役常務）
- ・田中 克幸（株式会社ビーラインワーク 専務取締役）
- ・平井 孝明（株式会社ビーンジャム スポーツのチカラ 事業部長）
- ・東野 仁孝（大阪府高等学校芸術文化連盟 軽音楽部会 副部会長、大阪府立阪南高等学校 教諭・軽音楽部顧問）
- ・山本 尚道（株式会社DEF MUSIC ENTERTAINMENT 代表取締役会長、本校第3期卒業生）
- ・久谷 秀明（高等学校軽音楽部連盟大阪 連盟長、大阪府立桜塚高等学校 首席・軽音楽部顧問）

#### 【専門学校ESPエンタテインメント大阪】

- ・今村 典也（校長）※議事進行
- ・縄田 一洋（副校長）
- ・白澤 健（副校長）
- ・池田 亨（教務課 音楽アーティスト科）
- ・上野 幹夫（教務課 音楽芸能スタッフ科）
- ・島本 篤（教務課 声優芸能科）
- ・石居 裕（学生支援課）
- ・牛田 政男（企画広報課）
- ・小杉 祐貴（総務課）※書記

◇自己採点◇ 適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1

大項目	点検・評価項目	自己評価
理念・目的 育人人材像 報告者：今村	1-1 理念・目的・育人人材像は定められているか	4
	1-2 育人人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4
	1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4
	1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4
	委員からの意見・質問	
<p>・キャリア育成に関する具体的なカリキュラムを知りたい。(久谷) ⇒セルフプロデュース&amp;マネジメントから、最終的には経費の計上(確定申告)まで、授業内で教えられるようにしたい。 昨今の学生はPCに馴染みが無い者も多く、メールの使い方なども説明する必要があると感じている。(今村) ・演者だけでなくPA等の裏方の仕事も、個人で独立することを目標とする学生が増えている。 確定申告など個人事業主として必要な知識を授業内で教えることは有用であり、他校との差別化にも繋がる。(平井)</p>		

大項目	点検・評価項目	自己評価
学校運営 報告者：今村	2-5 理念・目的・育成する人物像に沿った運営方針を定めているか	4
	2-6 運営方針に沿った事業計画を定めているか	4
	2-7 運営組織や意思決定機能は、規則等により明確化し有効に機能しているか	4
	2-8 人事・給与に関する制度を整備しているか	4
	2-9 情報システム化による業務の効率化が図られているか	4
委員からの意見・質問		
<p>・インターネット上でキーワード検索をした時、期待と異なる検索結果が出てくることがある。ホームページやSNSへの導線の整理は改善の余地があると感じる。(平井) ・夜間部の授業の為、職員は遅くまで学校に残る必要があると思われる。労働環境は大丈夫か？また、夜間部の再編の具体的な目的は何か？(東野) ⇒スタッフはシフト制で、3つの時間帯に分けて出勤することで夜間部の授業時間帯の人員を確保している。夜間部の再編については、高校3年生だけをターゲットに続けるには限界がある。今後は他の年齢層も取り入れる必要があると感じている。その体制作りを目的としている。一例として、現在夜間部で行っている授業を、夜間部の学生だけでなく、より手軽に選択して誰でも受けられるようなものにしたと考えている。(今村)</p>		

大項目	点検・評価項目	自己評価
教育活動 報告者：池田	3-10 教育理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	4
	3-11 学科毎に修業年限に対応した教育到達レベルを明確にしているか	4
	3-12 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4
	3-13 教育課程について外部の意見を反映しているか	4
	3-14 キャリア教育を実施しているか	3
	3-15 授業評価を実施しているか	3
	3-16 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4
	3-17 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	4
	3-18 資格取得に関しての方針は教育課程で明確に位置づけているか	4
	3-19 資格取得の指導体制はあるか	4
	3-20 資格要件を備えた教員を確保しているか	4
	3-21 教員の資質向上への取組を行っているか	4
3-22 教員の組織体制を整備しているか	3	
委員からの意見・質問		
<p>・資格や検定の合格率がどの程度か知りたい。(田中) ⇒資格にもよるが、高いものだとして90%を超える。「舞台機構調整技能士」は合格率が高い年で70～80%程度。今年度は少し下ってしまった。(石居) ・授業アンケートはどのように行っているのか？また、回収率を上げる為にどのような工夫を行っているか？(東野) ⇒Google Classroomを使用。近年の学生はPCやメールに馴染みが無いため、授業の中で口頭で説明しながら行う。アンケートの回答率は7割程度。(池田)</p>		

大項目	点検・評価項目	自己評価
学修成果 報告者：島本	4-23 就職率の向上が図られているか	4
	4-24 退学率の低減が図られているか	4
	4-25 資格取得率の向上が図られているか	4
	4-26 卒業生の社会的評価を把握しているか	3
	委員からの意見・質問	
<p>・卒業後にどのように活動していけば良いか迷う学生が多いと思うので、卒業生へのサポートとして、卒業後一年目(夏頃がベスト)にプロダクションと会えるオーディション等があるとありがたい。(山本) ・進級率、卒業率、退学率を改善する必要があるが、退学の原因としてはどのようなものがあるか？(田中) ⇒様々だが、精神的な理由が多い。学修支援制度ができ、経済的な理由で退学する者は少なくなった。(今村)</p>		

大項目	点検・評価項目	自己評価
学生支援 報告者：石居	5-27 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4
	5-28 学生相談に関する体制を整備しているか	3
	5-29 留学生に対する相談体制を整備しているか	4
	5-30 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4
	5-31 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	4
	5-32 学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか	4
	5-33 課外活動に対する支援体制を整備しているか	4
	5-34 保護者との連携体制を構築しているか	4
	5-35 卒業生への支援体制を整備しているか	3
委員からの意見・質問		
<p>・卒業後、留学生にはどういった進路があるのか？(西田)          ⇒就職希望者が多く、業界関連企業にも多く就職している。就職できなかった留学生は別の在留資格が必要。専門学校卒の場合、大学卒と比べて取得が難しく、特に音楽アーティスト科は関連した就職先が少なく厳しいと言わざるを得ない。(石居/今村/白澤)          ・特待生奨学金については、期待値が高い人物に対してはこちからスカウトする手もあるのではないか？(山本)          ⇒あまりにもレベルが高い学生が集まると、特待生だけの特別クラスを作る必要が出てくるので、現状は難しいと感じている。(今村)</p>		

大項目	点検・評価項目	自己評価
教育環境 報告者：白澤/上野	6-36 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4
	6-37 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	3
	6-38 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3
	6-39 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	4
委員からの意見・質問		
<p>・海外研修をより安く実施する方法はないか？(田中)          ⇒従来のロサンゼルスは渡航費が高いため、比較的近場である韓国へダンスやヴォーカルの技術を学びに行くプログラムを画策中。(今村)          ・国際交流は学生にとって魅力的な要素の一つなので、より一層機会を増やしてほしい。(東野)</p>		

大項目	点検・評価項目	自己評価
学生の募集と受け入れ 報告者：牛田	7-40 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取組んでいるか	4
	7-41 学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか	3
	7-42 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	4
	7-43 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	4
	7-44 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	4
	7-45 入学辞退者に対し授業料等について適正な取扱いを行っているか	4
委員からの意見・質問		
<p>・牛田からの質問「コロナ禍が明けて業界全体の客足は戻ってきているか？」に対して          ⇒客の人数自体はコロナ禍以前の水準に戻っているが、一度離れた層は戻らず、新しい層が客として根付いた(客層が変わった)と感じている。(山本)          ・牛田からの質問「軽音楽部の高校生に対して、ギタープレゼント企画などを介して学校の宣伝活動を今年も継続してよいか？」に対して          ⇒学生への直接的なアプローチには抵抗があるが、プレゼント企画は学生にとって好評なので続けてほしい。(久谷)          ・牛田からの質問「コロナ禍前後で軽音楽部の人数は変化があったか？」に対して          ⇒あまり変わっていないが、高校の部活動の在り方が見直されており、今後その影響を受ける可能性はある。個人の指導員や地域団体に一任している学校もあるので、ESPも連携できる要素があるかも知れない。(久谷/東野)</p>		

大項目	点検・評価項目	自己評価
財務 報告者：白澤	8-46 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	4
	8-47 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	4
	8-48 教育目標との整合性を図り、半年度予算、中期計画を策定しているか	4
	8-49 予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	4
	8-50 私立学校法及び寄附行為に基づき適切に監査を実施しているか	4
	8-51 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	4
委員からの意見・質問		
特になし		

大項目	点検・評価項目	自己評価
法令等の遵守 報告者：白澤	9-52 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4
	9-53 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4
	9-54 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4
	9-55 自己評価結果を公表しているか	4
	9-56 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	4
	9-57 学校関係者評価結果を公表しているか	4
	9-58 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	4
	委員からの意見・質問	
<p>・府立高校でも補助金等は二段階の検査があり、厳しくチェックされている。大変だと思うが頑張してほしい。(東野)</p>		

大項目	点検・評価項目	自己評価
社会貢献 地域貢献	10-59 学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
	10-60 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
	10-61 地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	3
報告者： 縄田/上野	委員からの意見・質問 ・軽音楽連盟としては、様々なイベントやレコーディングへの協力に大変感謝している。地域貢献に関しては最高の評価を与えたい。(久谷)	